

Chapter

# 4

## 第4章 行政経営改革

「重点プロジェクト」と「分野別施策」を着実に推進するとともに、新たなニーズに的確に対応し、より質の高いサービスを持続的に提供していくための「行政経営改革」に取り組みます。



# 行政経営改革の推進

- (1) 行政のデジタル化の推進
- (2) 人材育成・組織力の向上
- (3) 公民連携の推進
- (4) 財政基盤の確立



## (1) 行政のデジタル化の推進

### 〈方針〉

市民サービスの向上を図るため、デジタル社会の基盤となるマイナンバーカードの普及・利用促進に努めるとともに、デジタル技術を積極的に活用した「早くて・簡単・便利な」窓口サービスの提供と行政事務の効率化を推進します。

### ① 行政手続の利便性向上

マイナンバー制度を活用した行政手続のオンライン化やデジタル技術を活用した各種手続の簡素化などにより、利便性の向上を図ります。

#### 〈主な取組〉

- マイナンバーカードの普及・利用促進
- マイナポータルなどを活用した行政手続のオンライン化
- デジタル技術を活用した窓口サービスのスマート化
- 市役所窓口とのオンライン接続による公民館のサービス拡大

### ② 行政事務の標準化・効率化の推進

自治体情報システムの標準化などへの対応を推進するとともに、デジタル技術を活用し、定型業務の自動化やペーパーレス化など業務の効率化を図ります。

#### 〈主な取組〉

- 自治体情報システムの標準化・共通化への対応
- ペーパーレス化などのデジタル環境の整備
- AI<sup>(\*)1)</sup>、RPA<sup>(\*)2)</sup>などの活用による業務の効率化
- デジタル化に向けた内部事務の見直し

\*1) AI :

Artificial Intelligence の略。人工知能のことを指し、人間がコンピューターに対してあらかじめ分析上注目すべき要素をすべて与えていなくても、コンピューター自らが学習し、一定の判断を行うことが可能になる(議事録自動作成など)。

\*2) RPA :

Robotic Process Automation の略。これまで人間が行ってきた典型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するもので、RPAを導入することにより、業務自動化による生産性向上が期待される(データ入力・システム間連携の自動化など)。



マイナンバー制度を活用した行政手続のオンライン化



ペーパーレス化による業務効率化

## (2) 人材育成・組織力の向上

### 〈方針〉

変化する社会の状況を的確にとらえ、より質の高い市民サービスを提供していくため、職員力・組織力の向上を図ります。

### ① 職員力の向上

幅広い視野を持ち、多様化する行政課題の解決に向けて自ら考え、積極的に行動できるよう、各職位ステージに応じた職員研修の効果的な実施などにより職員の能力向上を図ります。

#### 〈主な取組〉

- 職員の能力の<sup>かんよう</sup>涵養を目的とした計画的な職員研修の実施
- 若手職員及び中堅職員の人材育成の強化
- 専門的な知識を有する人材の確保と積極的な採用活動の展開

### ② 組織力の向上

実効性が高く柔軟な職員配置に努めるとともに、誰もが健康で働きやすく風通しの良い職場づくりを進めることで、組織力の向上を図ります。

#### 〈主な取組〉

- 職員の能力や特性を活かした効果的な職員配置
- 組織マネジメント力向上のための人事考課制度の適正な運用
- 職場内のコミュニケーションの活性化
- ワーク・ライフ・バランスの推進やメンタルヘルス対策の充実・強化など、働きやすい職場環境の整備

## (3) 公民連携の推進

### 〈方針〉

市民や企業、団体などと一体となって総合計画を実行するため、参画と協働を推進します。また、さまざまな分野において、県や他の自治体、関係機関としっかり連携しながら、互いの強みを活かした取組を推進します。

### ① 市民等の参画と協働

市民をはじめとした多様な主体が協働して地域課題の解決に取り組めるよう、必要な行政情報などの共有化を図りながら、参画と協働を推進します。

#### 〈主な取組〉

- 地域課題を効果的に解決するための事業を市民が提案できる「防府市協働事業提案制度」の活用
- 防府市市民活動支援センターを活用した市民等との協働による取組の推進
- 市広報やSNSなどを活用した積極的な行政情報の発信
- 市長懇話会など市政への意見を聴く機会の提供

### ② 多様な主体との連携

防災や福祉などさまざまな分野において、民間企業、大学、県や周辺自治体など多様な主体との連携による市民サービスの充実を図ります。

#### 〈主な取組〉

- 新庁舎への山口県防府総合庁舎機能の移転による県との連携強化
- 新庁舎への防府市社会福祉協議会の移転による福祉相談機能の強化
- 山口市、萩市との消防通信指令業務の共同運用による消防力の強化
- 民間企業や大学などとの包括連携協定による地域活性化の取組推進

## (4) 財政基盤の確立

### 〈方針〉

持続可能な財政基盤の確立のため、積極的な財源確保と徹底した歳出の適正化に努めるとともに、将来に向けた税源涵養<sup>かんよう</sup>に取り組みます。

### ① 財源の確保

保有財産の有効活用やふるさと納税の活用など、財源の確保に取り組みます。

#### 〈主な取組〉

- 駅北公有地などの未利用財産への民間活力の導入
- 市有三世代住宅用地の定住住宅用地としての民間活力の導入
- 花木センターのあり方と土地の活用方針の検討
- 公会堂へのネーミングライツ導入など、保有財産の有効活用
- 防府競輪の活性化による繰入金<sup>繰入金</sup>の増加
- 本市の魅力を発信することによるふるさと納税の拡大
- 各種未収金の一元的管理による収入の確保

### ② 歳出の適正化

常に徹底した事務事業の見直しを進めるとともに、公共施設の管理運営の効率化など、歳出の適正化を図ります。

#### 〈主な取組〉

- 防府市公共施設等総合管理計画<sup>※1</sup>に基づき、施設の複合化、長寿命化、効率化などによる公共施設マネジメントの推進
- 徹底した事務事業の見直し

### ③ 税源涵養<sup>かんよう</sup>の促進

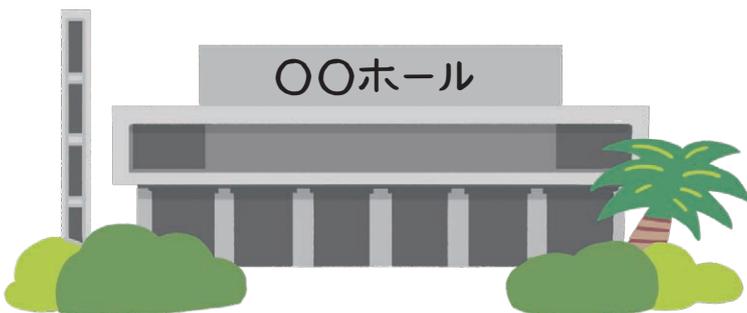
将来的に安定的な税財源の確保につながる施策に取り組みます。

#### 〈主な取組〉

- 雇用や税源の確保につながる企業誘致の推進
- 地域経済の活性化につながる駅周辺のまちづくり
- 地産地消の強化・徹底

※1 防府市公共施設等総合管理計画(平成28年度～令和27年度)

公共施設とインフラ施設に関する総合的かつ計画的な考え方をまとめた計画



ネーミングライツなどによる保有財産の有効活用



ふるさと納税の活用・拡大による財源確保

## 財政健全化の取組

近年、本市の財政状況は、社会保障費の増加や大型の建設事業の実施などにより財源不足が続き、市の貯金である財政調整基金<sup>(\*)</sup>を取り崩すことで対応してきました。

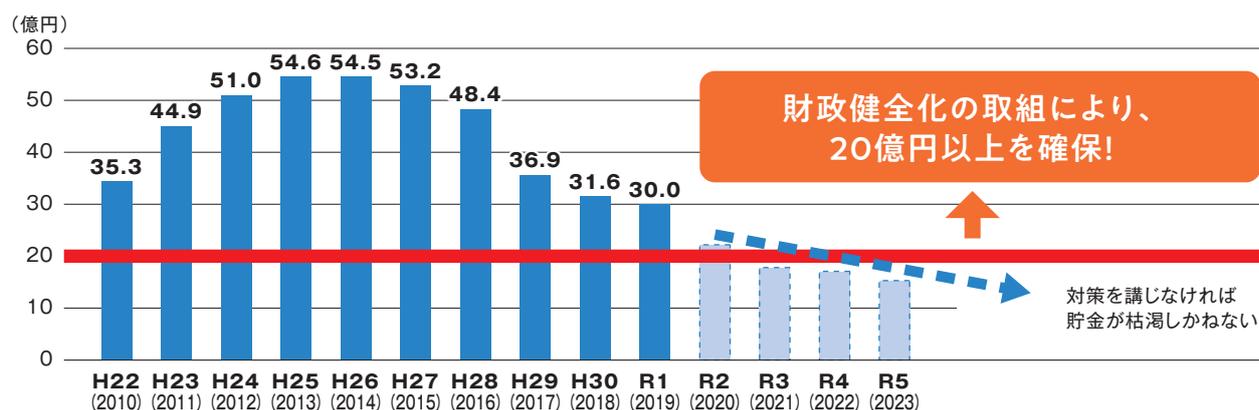
この結果、財政調整基金残高は、平成25年度の54.6億円をピークに、平成30年度には31.6億円まで減少し、このままでは財政調整基金が枯渇しかねない状況となっていました。

こうした厳しい財政状況を踏まえ、令和元年度から、歳入面、歳出面、税源涵養<sup>かんよう</sup>面の3つの観点により財政健全化の取組を始めたことで、令和元年度決算における財政調整基金の取崩しを1.6億円に抑えることができました。

しかしながら、令和2年度は、約9億円の財政調整基金を取り崩して大型補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症対策や経済活性化対策などを講じており、令和3年度には、感染症の影響で市税の大幅な減収が見込まれるなど、更に厳しい財政状況となることが懸念されます。

こうした中においても、総合計画に掲げる施策を着実に実施し、また、災害などの不測の事態に備える必要があることから、より一層の財政健全化の取組を進め、毎年度の決算時には、財政調整基金の残高を20億円以上確保します。

### 参考：貯金(財政調整基金)残高の推移



出典：地方財政状況調査関係資料「決算カード」

\*1) 財政調整基金：災害の発生などによる予測できない支出や年度間における財源の調整をするための基金。

# SDGs(持続可能な開発目標)の説明

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 世界を変えるための17の目標



### 目標1【貧困】

あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる



### 目標2【飢餓】

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する



### 目標3【保健】

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



### 目標4【教育】

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



### 目標5【ジェンダー】

ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う



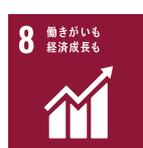
### 目標6【水・衛生】

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



### 目標7【エネルギー】

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



### 目標8【経済成長と雇用】

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する



### 目標9【インフラ、産業化、イノベーション】

強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



### 目標10【不平等】

国内及び各国家間の不平等を是正する



### 目標11【持続可能な都市】

包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する



### 目標12【持続可能な消費と生産】

持続可能な消費生産形態を確保する



### 目標13【気候変動】

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



### 目標14【海洋資源】

持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



### 目標15【陸上資源】

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



### 目標16【平和】

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



### 目標17【実施手段】

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

資料：外務省「持続可能な開発目標(SDGs)と日本の取組」